



子どもにとっての出会い系の意味とは

- ◇ メディアが発達し、子どもたちの周りには情報があふれているため、趣味はより細分化されています。

例えば自分と同じマンガが好きな友だちが学校内に見つからなくても、インターネット上なら簡単に見つけることができます。インターネットの向こう側の人であっても、話があれば、子どもにはより身近な存在に感じられるのです。



- ◇ 最近の子どもたちは、「顔見知りには話せないようなことでも、誰だかわからない他人には話せる」と考える傾向にあります。身近な人たちには知られたくない秘密も、見知らぬ他人になら安心して話してしまう危うさがあります。

そのため、掲示板やチャットでも顔見知り以上に親密なやりとりがなされ、実際に会ってみようという話になったときにも、容易に出かけてしまう危険性が高いのです。

- ◇ 大人の出会い系といえば、大人のつきあいを求めるものが多いわけですが、子どもたちの動機は同じ趣味を持つ仲間を探すことであったり、単なる好奇心であったりします。しかし、そこにつけ込む悪い大人がいる以上、子どもたちの行動は制限せざるを得ません。ご家庭では、悪いことを考える大人の存在を、しっかりと伝える必要があるでしょう。

成人が利用する「出会い系サイト」を、不純交際目的で利用した場合は、未成年であっても罰則規定があります。好奇心であっても「出会い系サイト」を利用してはいけません。



出会い系サイトはどのようにして利用してしまうのでしょうか？

子どもの場合は届いたメールに書かれているリンクをクリックした、あるいは検索サイトの表示結果内に紛れ込んでいたなどの理由で、偶発的に「出会い系サイト」を表示させてしまうケースが多いようです。



どうしたら出会い系サイトの利用は防げますか？

子どもに有害なページを表示させないフィルタリングという機能の利用とともに、たとえ表示されてもそれ以上踏み込まないという心の教育が必要です。